



2020/21年 スチュワードシップ活動報告

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の「2020/21年 スチュワードシップ活動報告」を別添の通り公表いたします。

<GPIF のスチュワードシップ責任に対する考え方>

GPIF は、長期的な投資収益の拡大を図る観点から、投資先及び市場全体の長期志向と持続的成長を促す様々な活動を進め、スチュワードシップ責任を果たしていきます。

GPIF は資金規模が大きく、資本市場全体に幅広く分散して投資する「ユニバーサル・オーナー」です。また、100年を視野に入れた年金財政の一翼を担う「超長期投資家」でもあります。このような特徴を持つ GPIF が長期にわたって投資リターンを獲得するためには、企業の長期的な成長を阻害する活動を防ぎ、市場全体が持続的に成長することが不可欠といえます。GPIF は、以下のような取り組み等を通じて、市場の持続的な成長に貢献していきます。

GPIF 自身は一部の資産を除き、運用受託機関を通じて日々の売買や株式議決権を行使しているため、運用受託機関と投資先との間で、持続的な成長に資する ESG も考慮に入れた「建設的な対話」（エンゲージメント）を促進することで、「長期的な企業価値向上」が「経済全体の成長」に繋がり、最終的に「長期的なリターン向上」というインベストメントチェーンにおける Win-Win 環境の構築を目指すことにより、スチュワードシップ責任を果たしてまいります。

「スチュワードシップ活動報告」概要

<GPIF の取組>

- (1) GPIF にとってのスチュワードシップ活動の意義
- (2) スチュワードシップ活動に関するこれまでの主な取組
- (3) 原則や方針の変更
- (4) 市場の持続的な成長に向けた取組
- (5) ESG 活動の推進
- (6) 関係機関とのエンゲージメント強化
- (7) 運用受託機関と企業の対話の促進に向けた取組
- (8) ステークホルダーおよび関係機関との連携強化

< GPIF の運用受託機関のステュワードシップ活動の状況 >

(1) 概要

株式のステュワードシップ活動において、全体的なレベルは上がっており、取組内容、スピードともに進んでいます。運用受託機関単独での動きに加えて、協働イニシアティブへの参画、活用も広がっています。この一年は、新型コロナウイルス感染拡大という制約がありながらも、企業・投資家双方の尽力によりエンゲージメント活動も継続的に行われています。

(2) パッシブ運用におけるエンゲージメント・適切な議決権行使

ステュワードシップを重視したパッシブ運用モデルについては、2018年に採用したアセットマネジメント One、フィデリティ投信の2ファンドとも、エンゲージメント活動が進んでいます。引き続き、本モデルの積極的な提案を期待しています。

(3) 重大な ESG 課題

GPIF は、ステュワードシップ活動原則で、重大な ESG 課題について積極的なエンゲージメントを求めています。パッシブ運用機関においては、全運用受託機関が、「気候変動」、「ダイバーシティ」、「サプライチェーン」を重大な課題として挙げており、E（環境）や S（社会）など、長期的な課題を特に重大な ESG 課題と認識していることが確認できました。新型コロナ感染拡大を受けて、国内及び外国株式パッシブ機関全社が、サプライチェーンを重大な課題と認識されたことが窺えます。一方、アクティブ運用機関は、国内と外国株式で認識している重大な ESG 課題が分かれています。外国株式においては、全ての機関が「気候変動」を重大な課題と考え、そのあとに S の課題が複数続く一方、国内株式においては、「取締役会構成・評価」、「少数株主保護（政策保有等）」を全機関が挙げており、G（ガバナンス）の課題をより重大な ESG 課題と認識しています。

< 運用受託機関への期待と課題 >

GPIF のステュワードシップ活動原則、議決権行使原則を踏まえた対応と従来から課題として挙げてきた事項に加え、以下4点への対応も特に期待しています。

- ・運用とステュワードシップの連携
- ・ステュワードシップを重視したパッシブ運用モデルの提案
- ・議決権行使方針への ESG 課題の反映
- ・投資先に対するメッセージと一致したステュワードシップ活動

< GPIF の今後の対応 >

GPIF は以下の取組を今後進めていきます。

- ・双方向のコミュニケーションを重視した運用受託機関や指数会社との「エンゲージメントの強化」
- ・ステュワードシップを重視したパッシブ運用モデルの採用拡大
- ・債券投資におけるステュワードシップ責任の評価基準・手法の検討
- ・ESG を含むエンゲージメントの成果や効果測定に関する外部との共同研究

以上